

第 3 章

資料編

104 ~ 114

3

土地利用構想図



ゾーン別の方針

1. 中心市街地ゾーン

桑名駅の東西に形成されている市街地を中心市街地として位置付け、各種都市機能の集積を図り、内外から人が集まる賑わいと活力ある拠点づくりを進めます。

2. 商業・観光ゾーン

商業施設が集積する商業地は、選択性・利便性に富んだ市民の消費生活を支えることができるように、現状の商業・サービス機能の維持・更新を支援し、桑名が誇る観光・交流拠点の魅力を積極的に発信し、広域からの集客を図ります。

3. 産業誘導ゾーン

多度地域の南部やインターチェンジ周辺を産業誘導ゾーンとして位置づけ、自然環境や周辺景観との調和に配慮しながら、産業の誘致及び支援を進めます。

4. 居住ゾーン

生活道路や下水道などのインフラ整備や維持、公園・緑地の適正管理や緑化の推進に努め、快適に暮らせることができる居住ゾーンを形成します。また、少子高齢化と人口減少に伴って発生が見込まれる居住地における空洞化及び過疎化への対策を進めていきます。

5. 田園環境保全ゾーン

優良農地の保全に努め、農業生産基盤の維持を図ります。また、田園環境を保全しながら、道路など日常生活に必要な生活基盤の整備を進め、居住環境の充実を図ります。

6. 森林・緑地ゾーン

景観や防災、環境保全などの森林が持つ多面的な機能の維持・増進を図るとともに、市民や来訪者が楽しむことができるレクリエーション空間として活用します。

7. 水辺環境保全ゾーン

木曾三川や市街地を流れる河川の貴重な水辺環境を保全するとともに、水産資源を活用した漁業の振興を図ります。河川環境を生かしたうおいのある親水空間を整備するとともに、地震、風水害に備えた防災対策を強化します。

8. 中心拠点

交通結節点である桑名駅周辺を中心市街地として位置付け、コンパクトな都心を目指すため、機能の再構築を図ります。

9. 地域拠点

地域の日常生活の拠点として、地域コミュニティの維持と良好な居住環境の創出を図ります。

桑名市中期財政計画

総合計画に基づき、本市の普通会計に係る中期財政計画を次のとおりとします。

※ 普通会計は、各地方自治体間で財政比較を行うため用いられている統一的な会計区分で、一般会計と公営企業や収益事業などの会計以外の特別会計とを合算したものです。

本市における普通会計は、一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計及び地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計（独法移行後）です。

背景

本市の財政状況は、歳入では、普通交付税の合併算定替の特例措置が段階的に縮減していましたが、令和元年度でこの段階的縮減が最終年度を迎え、また、市税収入はここ数年堅調に推移しており、今後の行財政運営に希望の光が射してきたものと期待できます。しかしながら、今後、人口、特に生産年齢人口が少しずつ減少していく中で、歳入全般としては楽観視できない状況にあります。

一方、歳出では、将来のために適切な投資をし、まちの魅力を磨き上げていくために、優先的に進めるべき事業に取り組んでいくほか、急速な高齢化の進展を背景とした社会保障関係経費の増加や公共施設の多くが更新の時期を迎えることから、その更新についても、市の歳出の増加要因になるものと考えられます。

策定目的

総合計画の実現及び自立的・持続的な行政運営を進めるにあたり、中長期的な視野に立った財政基盤の確立及びそれに基づく計画的な財政運営を行うため策定するものです。各年度の予算編成は、本計画との整合性を図りながら進めます。

計画期間

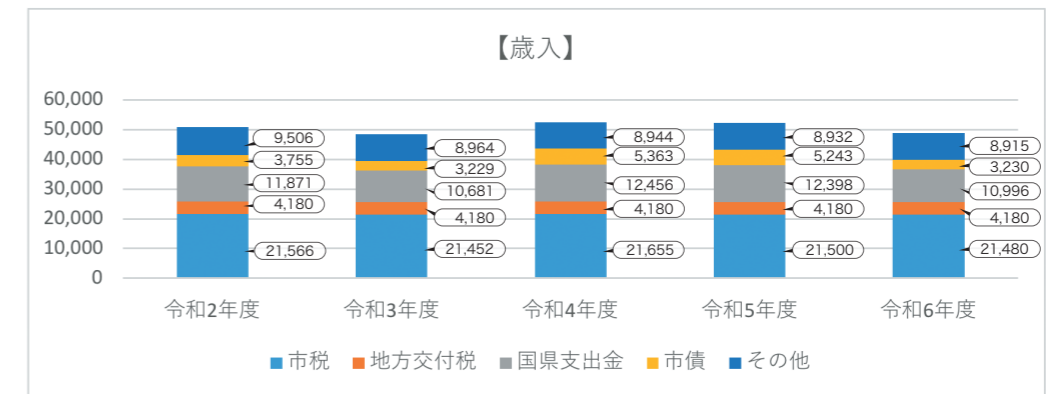
中期財政計画は、総合計画後期基本計画と同期間の令和2年度から6年度までの5年間とします。

年度別計画

【歳入】

(単位：百万円)

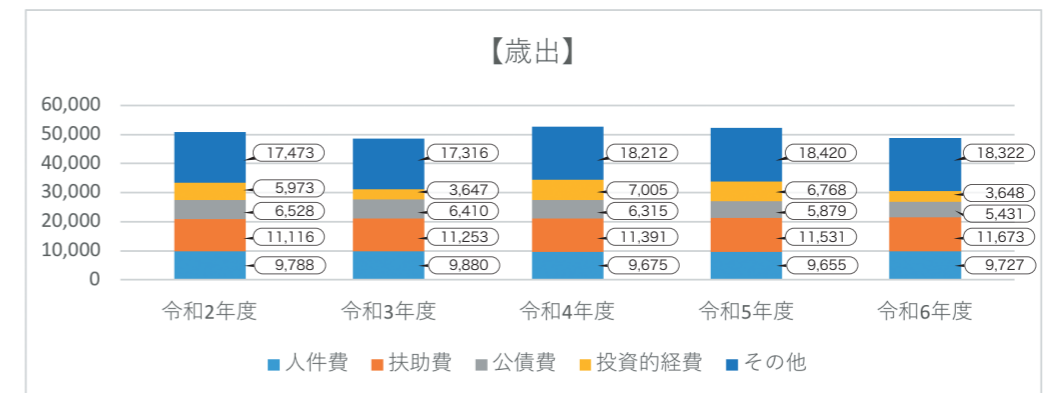
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市税	21,566	21,452	21,655	21,500	21,480
地方交付税	4,180	4,180	4,180	4,180	4,180
国県支出金	11,871	10,681	12,456	12,398	10,996
市債	3,755	3,229	5,363	5,243	3,230
その他	9,506	8,964	8,944	8,932	8,915
歳入合計	50,878	48,506	52,598	52,253	48,801



【歳出】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費	9,788	9,880	9,675	9,655	9,727
扶助費	11,116	11,253	11,391	11,531	11,673
公債費	6,528	6,410	6,315	5,879	5,431
投資的経費	5,973	3,647	7,005	6,768	3,648
その他	17,473	17,316	18,212	18,420	18,322
歳出合計	50,878	48,506	52,598	52,253	48,801



策定・推計方法

● 共通

経済見通し	経済成長率（平成31年1月「中長期の経済財政に関する試算」（内閣府）の「ベースラインケース」の見通しを反映しています。 （実質GDP成長率 1.0～1.4% 名目GDP成長率 1.5～2.3%）
消費税率	令和元年10月 2%増（8%→10%）の影響額を反映しています。

● 歳入

市 税	人口推計の生産年齢人口を考慮し、見込んでいます。 法人市民税の減税（令和元年10月1日施行）を考慮し、見込んでいます。 令和2年度以降 3.7%減（9.7%→6.0%）
各種税交付金	地方消費税交付金 令和元年10月に10%となることを見込んでいます。
地方交付税	普通交付税 令和元年度当初予算額を据え置いています。 特別交付税 令和元年度当初予算額を据え置いています。
分担金及び負担金	令和元年度予算額を基本に幼児教育・保育の無償化による影響（私立保育所負担金等の減）を反映しています。
使用料及び手数料	令和元年度予算額を基本に消費税率の増加分を反映しています。（令和2年度以降、消費税率2%増（8%→10%）の影響額を反映。） また、幼児教育・保育の無償化による影響（公立保育所・幼稚園保育料等の減）を反映しています。
国庫支出金	扶助費相当分は扶助費の増額分を考慮して見込むほか、幼児教育・保育の無償化による影響を反映しています。また、普通建設事業における財源の推移も反映しています。
県支出金	扶助費相当分及び普通建設事業は、国庫支出金の推計方法と同じです。
寄附金	ふるさと応援寄附金の見込み額を維持し、令和元年度当初予算額を据え置いています。
繰入金	基金繰入金は、地域振興基金、ふるさと応援基金等を計上したほか、歳入歳出不足分を財政調整基金の取崩しにより調整しています。
市 債	普通建設事業における財源の推移を反映しています。 臨時財政対策債は、令和元年度当初予算額を据え置いています。
その他	その他の歳入は地方譲与税、地方特例交付金、財産収入、繰越金、諸収入で、過去の実績等を踏まえて見込んでいます。

● 歳出

人件費	現行制度をもとに、定員適正化計画に基づく、職員採用計画の数値を反映しています。また、物件費に分類される臨時的任用職員の賃金については、すべて会計年度任用職員の人件費に移行すると試算しています。
物件費	令和元年度予算額を基本に主要事業調査による事業費の計画、消費税率2%増の影響額を反映しています。また、令和2年度以降の臨時的任用職員の賃金については、すべて会計年度任用職員の人件費に移行すると試算しています。
維持補修費	平成27～29年度決算額の平均を基本に、一定の伸び率を反映しています。
扶助費	過去の対前年度伸び率の平均を反映しています。また、幼児教育・保育の無償化に関わる影響額も反映しています。
補助費等	企業会計、一部事務組合、民間企業等への補助金、負担金を見込んでいます。また、幼児教育・保育の無償化に関わる影響額も反映しています。
投資的経費	主要事業調査による事業の計画額を反映しています。
公債費	既借入債の償還予定額に、今後発行する予定の合併特例事業債、臨時財政対策債等の償還見込み額を加えています。
積立金	ふるさと応援基金等は令和元年度予算額と同額を計上しています。 また、歳入歳出余剰分は財政調整基金への積立として調整しています。
貸付金	地方独立行政法人桑名市総合医療センターへの貸付金を計画に反映しています。
繰出金	国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業、農業集落排水事業など各特別会計の計画を反映しています。

用語解説

● 歳入

区分名	説	明
市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税など、市民や市内に事務所などを持つ法人などに、納めていただく税金のことです。	
地方譲与税	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税など、国税として徴収されたものを、一定の基準により、市に対して譲与されるものです。	
各種税交付金	利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金など、県税として徴収されたものを、一定の基準により、市に対して交付されるものです。	
地方特例交付金	恒久的な減税に伴う地方税の減収額の一部を補てんするために交付されるものです。	
地方交付税	全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税の一定割合を財源として、一定の基準により、市に対して交付されるものです。	
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するものです。	
使用料及び手数料	市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものです。市民会館の使用料や、住民基本台帳等証明手数料などが該当します。	
国庫支出金	一部の建設事業や福祉事業など市が支出する特定の経費に対し、国から交付されるものです。	
県支出金	一部の建設事業や福祉事業など市が支出する特定の経費に対し、県から交付されるものです。県自らの施策として単独で交付されるものと、国庫支出金を県が経費の全部または一部として交付されるものがあります。	
財産収入	市有財産の貸付け、売払いなどによって得た現金収入のことです。 公共用地の売払収入や基金積立金の利子などが該当します。	
寄附金	用途を制限されない「一般寄附金」と用途を限定した「指定寄附金」があります。ふるさと納税もここに区分されます。	
繰入金	一般会計、特別会計及び基金との間における現金移動のことです。	
繰越金	一会計年度から次の会計年度へ持ち越した金額のことです。	
諸収入	収入の性質により、他の収入科目に含まれない収入をまとめたものです。 延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入などがあります。	
市 債	市が施設や道路などを整備する際の財源を調達するために借入れる資金のことです。	

● 歳出

区分名	説	明
人件費	職員などに対して報酬や給与などとして支払われる経費のことです。	
物件費	賃金、旅費、需用費、役員費、委託料などで、市が支出する消費的経費のことです。	
維持補修費	市の道路や公共施設等を維持管理するために必要な経費のことです。	
扶助費	生活保護費や児童手当など法令に基づいて実施する給付や、市が単独で行う各種扶助に係る経費のことです。	
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金などの経費のことです。また、講師謝金などの報償費などが該当します。	
投資的経費	市の施設や道路などの社会資本整備等に要する経費のことです。	
公債費	市債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費のことです。	
積立金	財政運営を計画的にするため、または財源の余裕がある場合に特定の支出目的のため、年度間の財源変動に備えて積み立てる経費のことです。	
貸付金	市が直接あるいは間接に地域住民の福祉増進を図るためなど現金の貸付けを行うものです。	
繰出金	一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される経費のことです。	

桑名市民満足度調査の結果

平成30年6月から7月にかけて桑名市民満足度調査を実施し、桑名市総合計画にある各施策の進行を確認しました。以下は主な調査結果についてまとめています。

- 調査概要**
- 調査対象** 市内に在住する15歳以上の市民3,500名を無作為に抽出
 - 調査期間** 平成30年6月15日～平成30年7月9日
 - 有効回答数** 1,333人（有効回収率38.1%）

1. まちづくり施策の満足度

本市のまちづくりに関する施策（全32項目）について、市民の「現在の満足度」を調査した結果、特に満足度が高い項目及び不満度が高い項目は次のようになっています。

(1) 満足度が高い項目

項目	満足度
環境・廃棄物（ごみ）対策	30.5%
消防・救急	26.2%
コミュニケーション活動（広報・広聴、市民との情報共有）	18.5%
上下水道	18.5%
防災	15.0%

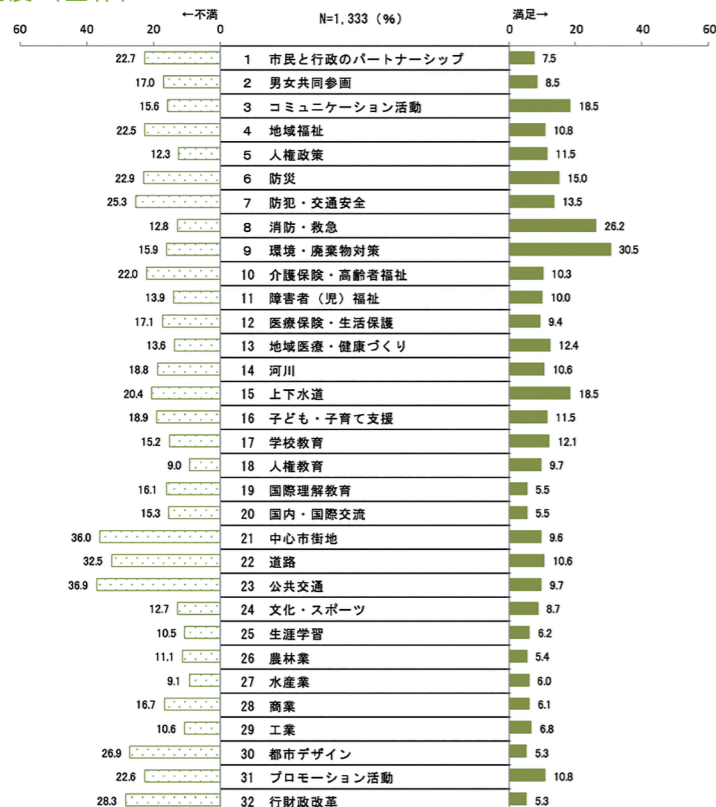
(2) 不満度が高い項目

項目	不満度
公共交通（電車、バス等）	36.9%
中心市街地（整備）	36.0%
道路（整備）	32.5%
行財政改革	28.3%
都市デザイン（都市計画）	26.9%

※「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合の合計が高い項目

※「不満」「どちらかといえば不満」と回答した割合の合計が高い項目

(3) 満足度（全体）



2. まちづくり施策の重要度

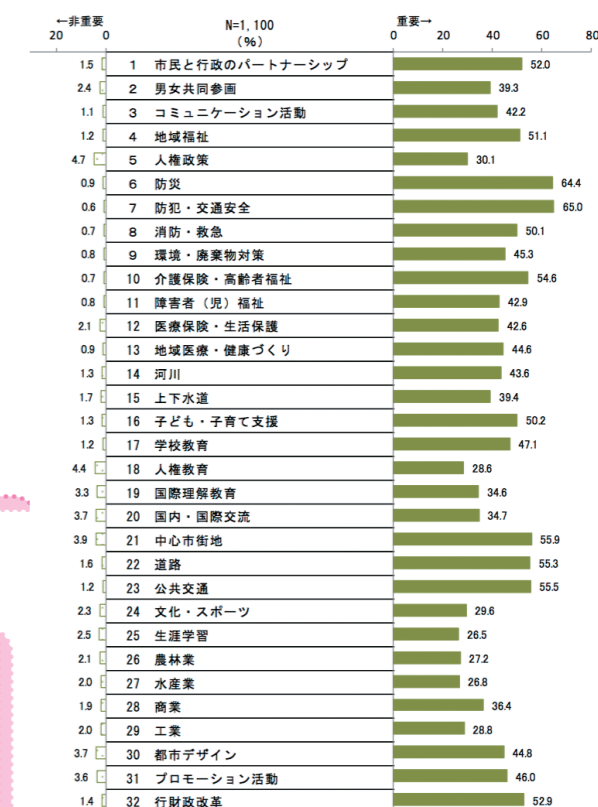
本市のまちづくりに関する施策（全32項目）について、市民の「今後の重要度」を調査した結果、特に重要度が高い項目は次のようになっています。

(1) 重要度の高い項目

項目	重要度
防犯・交通安全	65.0%
防災	64.4%
中心市街地（整備）	55.9%
公共交通（電車、バス等）	55.5%
道路（整備）	55.3%

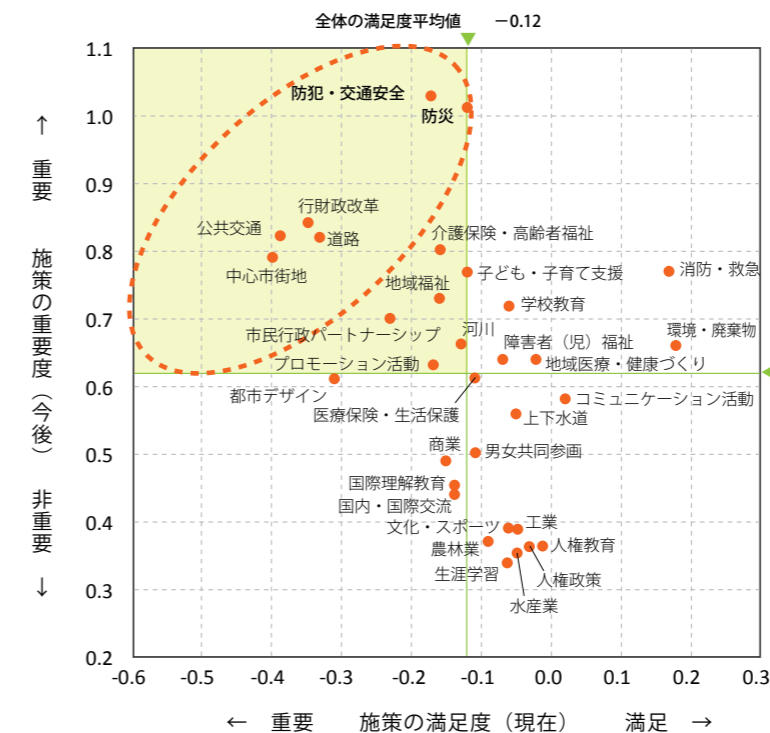
※「力を入れて取り組むべき」「できれば力を入れて取り組むべき」と回答した割合の合計が高い項目

(2) 重要度（全体）



3. まちづくり施策の満足度・重要度の分布

満足度と重要度との関係について見るために、各施策について満足度の平均値と重要度の平均値を算出し、満足度を横軸、重要度を縦軸とした座標に表すと、次の分布図となります。



この分布図においては、満足度が低く、かつ、重要度が高い領域（優先度が高い領域：図の左上の網掛け部分）にある項目が特に今後重点的に取り組むべき施策分野であることを示しています。今回の調査結果では、「公共交通（電車、バス等）」「行財政改革」「中心市街地（整備）」「道路（整備）」などが該当しています。



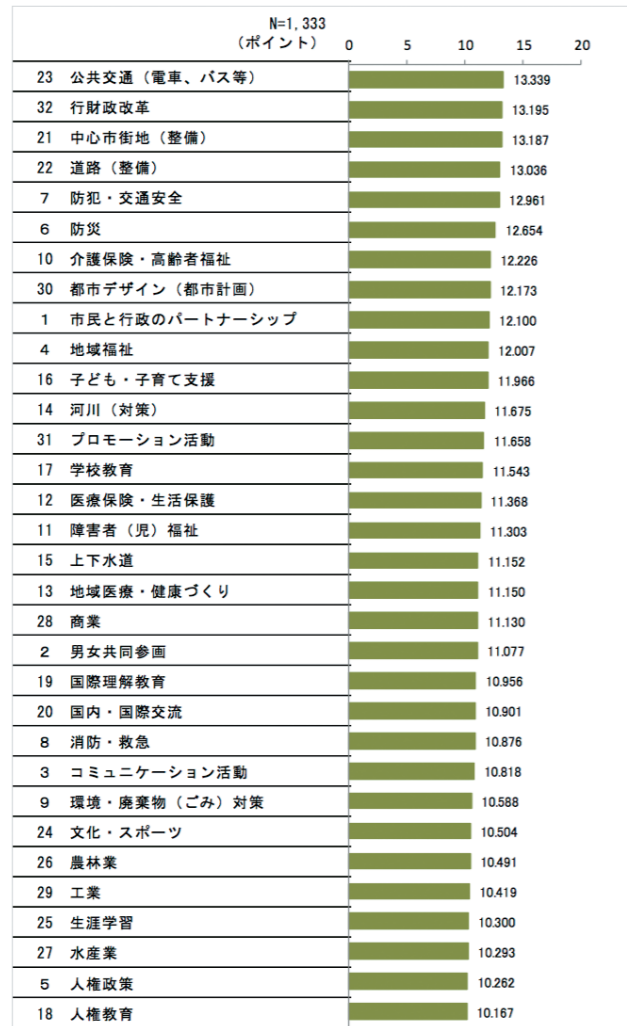
4. まちづくり施策の優先改善項目

満足度が低く重要度が高い施策を把握するために、次のとおりニーズ得点を算出しています。ニーズ得点は、満足度が低く重要度が高いほど得点が高くなる指標であり、ニーズ得点が高い施策ほど、今後優先的に取り組む必要があることを示しています。

【ニーズ得点の求め方】

満足度得点		重要度得点	
不満	5点	力を入れて取り組むべき	5点
どちらかといえば不満	4点	できれば力を入れて取り組むべき	4点
ふつう	3点	今のままで良い	3点
どちらかといえば満足	2点	あまり力をいれなくてもよい	2点
満足	1点	力をいれなくてもよい	1点

〈計算式〉ニーズ得点 = 満足度得点 × 重要度得点 (25点満点)



今回の調査結果では、「公共交通（電車、バス等）」「行財政改革」「中心市街地（整備）」「道路（整備）」などのニーズ得点が高くなっています。

桑名市総合計画 後期基本計画策定の主な経過

◎ 会議等

- 平成30年 8月28日
第1回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 総合計画の見直しについて
(2) 策定体制について
(3) 市民満足度調査の実施状況について
- 平成30年 9月27日
第2回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 平成30年度 市民満足度調査の結果報告について
- 平成30年 11月27日
第3回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 総合計画策定本部 部会及びワーキンググループについて
(2) 平成30年度第1回桑名市総合計画審議会について
- 平成30年 11月29日
第1回 桑名市総合計画審議会
(1) 平成30年度「桑名市民満足度調査」結果について
(2) 桑名市総合計画 後期基本計画の策定について
- 平成30年 12月14日
第1回 桑名市総合計画策定本部 部会・ワーキング合同会議
(1) 総合計画策定本部 部会及びワーキンググループについて
(2) 後期基本計画（2020-2024）の策定について
(3) 行政改革大綱（2020-2024）の策定について
(4) 都市計画マスタープランの改定について
- 平成31年 1月30日
第1回 桑名市行政改革推進委員会
(1) 桑名市総合計画における行政改革大綱の見直しに向けて
- 平成31年 3月25日
第1回 桑名市行政改革推進本部 本部会議
(1) 新行政改革大綱策定の経過及び今後の予定について
(2) 新行政改革大綱 基本方針（素案）について
- 平成31年 4月17日
第2回 桑名市総合計画策定本部 部会合同会議
(1) 後期基本計画（2020-2024）の平成31年度策定スケジュールについて
(2) 総合計画策定に係る各種団体との意見交換の実施について
- 令和元年 7月16日
第4回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画」の策定について
・策定経過と今後のスケジュールについて
・「後期基本計画」（素案）について
- 令和元年 7月30日
第2回 桑名市総合計画審議会
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画（2020-2024）」の策定について
・策定経過について
・策定方針について
・前期基本計画の評価及び現状と課題について
- 令和元年 7月31日
第2回 桑名市行政改革推進委員会
(1) 新行政改革大綱の策定について
- 令和元年 8月7日
【市議会】総合計画後期基本計画検討協議会（第1回）
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画（2020-2024）」の策定について
・策定経過及び策定方針について
・前期基本計画の評価及び現状と課題について
- 令和元年 9月3日
第5回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画」（案）について
- 令和元年 9月11日
第3回 桑名市総合計画策定本部 部会合同会議
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画」（案）について
- 令和元年 10月1日
第6回 桑名市総合計画策定本部 本部会議
(1) 桑名市総合計画「後期基本計画」（案）について

- 令和元年 10月4日
第3回 桑名市総合計画審議会 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について

- 令和元年 10月15日
【市議会】総合計画後期基本計画検討協議会(第2回) (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について

- 令和元年 10月28日
【市議会】総合計画後期基本計画検討協議会(第3回) (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について

- 令和元年 10月31日
第7回 桑名市総合計画策定本部 本部会議 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について

- 令和元年 11月5日
第4回 桑名市総合計画審議会 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について

- 令和元年 11月5日
桑名市総合計画審議会答申 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」の策定について

◎ 市民・団体との意見交換

- 平成31年 1月20日
「桑名市長と桑名の未来を語ろう! 2019」
イオンモール桑名 一番街 噴水の広場で、市長と市内高校生によるテーマディスカッションを行いました。
内容/テーマ(1)「桑名市の現状」
テーマ(2)「これからの桑名市に期待すること・必要なもの」

- 令和元年 5月～令和元年 9月
「市長団体訪問」
市長が市内の23団体を訪問し、市政について意見交換を行いました。

【委員名簿】

桑名市総合計画審議会

- 会 長 西村 訓弘
- 副会長 小笠原 まき子
- 委 員 藤原 隆
- 委 員 木村 隆子
- 委 員 日比野 一子
- 委 員 吉田 親俊
- 委 員 安井 早苗
- 委 員 松岡 典子

桑名市行政改革推進委員会

- 委 員 長 丸山 康人
- 副委員長 野崎 敏彦
- 委 員 伊庭 良知
- 委 員 川北 睦子
- 委 員 齊藤 由里恵
- 委 員 南田 修司
- 委 員 野呂 茂樹
- 委 員 水谷 美保

◎ 発行/令和2年3月
◎ 編集/桑名市 市長公室 まちづくり推進課

〒511-8601 三重県桑名市中央町二丁目37番地
TEL 0594-24-1463 FAX 0594-24-1412
E-mail seisakum@city.kuwana.lg.jp
HP http://www.city.kuwana.lg.jp/